

★インフルエンザの症状と治療、出席停止期間について★

①一般的なインフルエンザの症状は・・・

| | |
|------------------------------------|------------------------------|
| 発熱 38度以上の高熱が出ることが多いです。 | 頭痛 頭全体がズキズキ痛むことがあります。 |
| 咳 乾いた咳が出ることが多いです。 | 関節痛 全身の関節が痛むことがあります。 |
| 鼻水 透明または黄色っぽい鼻水が出ることがあります。 | 筋肉痛 全身の筋肉が痛むことがあります。 |
| のどの痛み のどがイガイガしたり、痛くなったりします。 | 倦怠感 強いだるさを感じるがあります。 |

※風邪の症状と似ていることもありますが、インフルエンザの方が急激に症状が強くなることです。

②主な治療法は・・・

| | |
|---|--|
| 抗インフルエンザ薬 タミフル、ソフルーザ、イナビルなどがあります。ウイルスの増殖を抑え、症状を軽くしたり、治るまでの期間を短くしたりする効果があります。注意点は、発症から48時間以内に服用を開始することが推奨されています。医師の指示に従って正しく服用してください。 | |
| 対症療法 解熱剤 熱を下げるためにアセトアミノフェンなどの解熱剤を使用します。 鎮咳薬 咳を鎮めるために使用します。 去痰薬 痰を出しやすくするために使用します。 | |
| 安静と休養 ☆十分な睡眠をとり、体を休めることが大切です。☆消化の良い食事を摂り、水分補給をしっかり行いましょう。☆脱水症状を防ぐために、経口補水液やスポーツドリンクなどで水分補給をしましょう。☆加湿器などで湿度を保ち、のどを乾燥させないようにしましょう。 | |

※自己判断で薬を服用せず、必ず医師の診察を受け、指示に従って治療を行ってください。周囲への感染を防ぐため、外出を控え、マスクを着用しましょう。

③出席停止期間・・・

未就学児のインフルエンザ出席停止期間

インフルエンザにかかった場合、**保育園や幼稚園**では通園可能となるのは「**解熱後3日**を経過するまで」かつ「**発症した翌日から5日間**を経過するまで」つまり、「**熱が下がった翌日から3日**」&「**発症した翌日から5日間**」は、自宅待機することになります。

| 例 | 発症日 | 発症後5日間（登園停止期間） | | | | | 発症後5日を経過 | | |
|----------------------------------|---|--|---|---|---|--|---|---|---|
| | 0日目 | 1日目 | 2日目 | 3日目 | 4日目 | 5日目 | 6日目 | 7日目 | 8日目 |
| 発症後 1日目に 解熱した 場合 |  | 解熱  | 1日目  | 2日目  | 3日目  |  | 登園OK!  | | |
| 発症後 2日目に 解熱した 場合 |  |  | 解熱  | 1日目  | 2日目  | 3日目  | 登園OK!  | | |
| 発症後 3日目に 解熱した 場合 |  |  |  | 解熱  | 1日目  | 2日目  | 3日目  | 登園OK!  | |
| 発症後 4日目に 解熱した 場合 |  |  |  |  | 解熱  | 1日目  | 2日目  | 3日目  | 登園OK!  |

小学生以上のインフルエンザ出席停止期間

小学生以上でインフルエンザにかかった場合の出席停止期間は、学校保健安全法等の「学校保健安全法施行規則」で定められています。「解熱後2日を経過するまで」かつ「発症した翌日から5日間を経過するまで」つまり、「熱が下がった翌日から2日&発症した翌日から5日間」は、自宅待機することになります。

| 例 | 発症日 | 発症後5日間（出席停止期間） | | | | | 発症後5日を経過 | | |
|---------------|--|--|--|--|--|---|--|-----|-----|
| | 0日目 | 1日目 | 2日目 | 3日目 | 4日目 | 5日目 | 6日目 | 7日目 | 8日目 |
| 発症後1日目に解熱した場合 |  |  |  |  |  |  |  | | |
| 発症後2日目に解熱した場合 |  |  |  |  |  |  |  | | |
| 発症後3日目に解熱した場合 |  |  |  |  |  |  |  | | |
| 発症後4日目に解熱した場合 |  |  |  |  |  |  |  | | |
| 発症後5日目に解熱した場合 |  |  |  |  |  |  |  | | |

未就学児の出席停止期間が小学生以上よりも長い理由

インフルエンザにかかった場合、保育園幼稚園で通園可能となるのは「解熱後3日」と決められています。これは小学生以上の子どもより解熱後の出席停止期間が1日長く設定されていることになります。この理由のひとつには、乳幼児の場合、免疫機能の発達が十分ではなく、インフルエンザウイルスの増殖・排出が長期にわたって続くと考えられていることがあります。また、年長児によくみられる症状に、3日ほど高熱が出て一旦解熱し、その後再び発熱する二峰性発熱があります。元気になったように見えても、完治しているわけではないため、他の子どもへ感染をひろげるリスクが考えられるのです。こういった理由から、小学生以上の子どもより1日長く解熱後の日数が設定されています。

④インフルエンザに関する病児保育室の予約について・・・

★ゆたかクリニック病児保育室は、家庭で看病できる程度の病気のお子様をお預かりする施設です。入院が必要な重症のお子様はお預かりできません。

★利用当日の院長の診察の結果、「病状が重症」または、「一部の感染症（麻疹、結核、新型コロナウイルスなど）」である場合は、保育をお断りしています。

★インフルエンザの場合は、お預かりできます。しかし、保育中に病状が悪化し、保育の継続が不適当となったときは、お迎えをお願いする場合がありますのでご了承ください。

★利用される場合は、マイナンバーカード、医療証、お薬手帳、その他の必要な書類、持ち物をご用意ください。

★昼、日中分の投薬は承ります。朝の投薬は、済ませてきてください。